



徳島市民病院だより

徳島市民病院の理念
「思いやり・信頼・安心」

令和7年4月

42号

〒770-0812 徳島市北常三島町 2 丁目 34 番地 徳島市民病院広報管理室 TEL (088) 622-5121 (代表)

骨粗鬆症リエゾンサービス (FLS) の活動に高い評価

優秀施設賞を受賞

この度、第12回 日本脆弱性骨折ネットワーク学術集会において、当院の骨粗鬆症リエゾンサービス (Fracture Liaison Service : FLS) の活動が全国の医療機関の中から優秀施設として認められ、表彰を受けました。

FLSとは、骨粗鬆症による骨折患者さんが二度と骨折を繰り返さないように、多職種の医療スタッフが連携して骨粗鬆症の早期発見・早期治療、骨折予防のための包括的なサポートを提供するシステムです。当院では、大腿骨近位部骨折術後の患者さんを対象にFLSを提供しています。



日本脆弱性骨折ネットワーク学術集会にて
徳島市民病院 江西 哲也主任医長 (中央・左)



(右より) 大岸 弘敬薬剤師、
横山 光与医療事務アドバイザー

大岸 弘敬 薬剤師 (FLSマネージャー) を中心に、多職種チームによるリスク評価、患者教育、運動指導、薬物療法など包括的なアプローチに加え、横山 光与 医療事務アドバイザーを中心とした術後のフォローアップの充実が評価され、今回の受賞に至りました。日頃よりご尽力いただいているすべての関係者の皆様のご支援とご協力あつての優秀施設賞受賞であり、心より感謝申し上げます。

今回の受賞を励みに、今後は地域との連携をさらに強化し、二次性骨折予防の輪を広げていきたいと考えています。

(リハビリテーション科 江西 哲也)

マイナ保険証での受診方法

1 受付



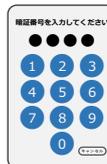
マイナンバーカードをカードリーダーに置いてください



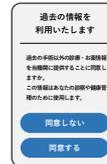
2 本人確認



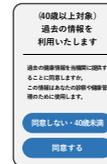
顔認証または4桁の暗証番号を入力してください



3 同意確認



診察室等での診療・服薬・健診情報の利用について確認してください



4 受付完了

カードをお忘れなく



お呼びするまでエントランスホールなどでお待ちください

5階病棟を改修 新興感染症への対応力を強化

令和7年の1月から施工されていた5階病棟改修工事が、3月25日に竣工しました。本工事は徳島県新興感染症対応力強化事業補助金を活用し、5階 回復期リハビリテーション病棟を新興感染症病棟へと改修を行ったもので、主な改修内容は次のとおりです。

① 病棟のゾーニング（6箇所）

新興感染症病棟として運用する際に迅速かつ簡便に用途変更するため、病棟廊下にパーティション等で間仕切りを新設した。

② 4床室の陰圧個室化（6室）

既存4床室の個室運用を想定し、中央部に新設したパーティションで病室を2分割した。また、当院現有の簡易陰圧装置を接続して陰圧化できるように、各室のアルミサッシを改修した。

③ 4床室の人工透析室化（1室）

人工透析室として使用できるように、既存4床室のアルミサッシ及び給排水設備を改修した。

④ 4床室の廃棄物一時保管室化（1室）

廃棄物一時保管室として使用できるよう、既存4床室のカーテン等を撤去し、排気設備を新設した。

本工事により、12床の新興感染症病床及び運用に最低限必要となる諸室の整備が完了しました。

（総務管理課 間 大資）



（上・下）ゾーニング時に使用するパーティション等



既存4床室のうち6室（12床）が陰圧個室として使用可能となった

感染管理認定看護師教育課程を修了

この度、特定行為研修を含む感染管理認定看護師教育課程を修了いたしました。研修期間中には多くの方々にご指導・ご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

感染管理認定看護師は、患者や家族、医療従事者、来訪者を感染から守り、施設内および地域での感染の予防、管理の役割を担います。その業務は、組織の構築、サーベイランス、感染防止技術、感染管理の相談・指導、職業感染管理、洗浄・滅菌・消毒、工事や施設管理など多岐にわたります。また、特定行為は感染徴候に係る薬剤の臨時投与、高カロリー輸液の調整、脱水の補正の3行為を修了しました。感染症患者への早期アプローチや抗菌薬適正使用を促すAST活動の活性化なども重要な役割です。

当院は感染対策向上加算Ⅰを取得しており、診療報酬の観点からも効果的かつ持続可能な感染対策の実践が職務となります。医療関連感染の原因の80%は接触感染であり、医療従事者の手を介して発生することが知られており、標準予防策や手指衛生を日々の業務の中で意識し、スタッフ一人ひとりが自律的に継続して適切に実践することが極めて重要です。感染対策は医療提供の基盤であり、組織全体で取り組むことが不可欠です。また、感染対策は一部の職種だけで行うものではなく、多職種と連携・協働しながら実施していく必要があります。

今後は、10月の認定資格試験に向けた勉強に励むとともに、日々の業務や子育てとの両立を図りながら、感染管理の実践と研鑽を重ねてまいります。今後とも、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

（看護部 近藤 亜矢子）

認定看護師教育課程を修了
近藤 亜矢子 さん



経営健全化推進会議開催

徳島市民病院経営健全化推進会議が2月27日、医局カンファレンスルームで開かれました。外部委員ら8人が出席し、互選で会長に上原 克之徳島大学大学院准教授、副会長に宇都宮正登徳島市医師会会長を選出して議事に入りました。同会議は「徳島市民病院経営強化プラン」（令和5年度－9年度）の該当年度の進捗状況を外部委員に評価していただくために、年1回開催するものです。

経営強化プランの実績と自己評価について、中野 俊次院長と八幡 建志病院局長が順次説明し、委員より各項目に関する質問や意見がありました。「救急搬送の積極的な受け入れが進んでおり、地域住民としても安心感がある」、「四国全体で若手医師が減っているなか、研修医を十分に確保しているのは評価できる」等の言葉をいただきました。

中野院長は「病床数や医師数に限りがあるものの、可能な限り救急を断らないよう努力したい」、「職員全体が挨拶を始めとしたコミュニケーションを心掛けており、研修医から選ばれるような環境整備に努めている」などと答えました。その後も忌憚のない意見交換が行われ、終会となりました。

この日の協議を基に上原会長が報告書を作成し、各委員が確認後、3月中に三宅 秀則病院事業管理者へ答申する予定となっています。

(医事経営課 上原 大宜)



実績と自己評価に関する報告中の様子

◆ 研修医日記 ◆

臨床研修医の皆さんに、医師を目指すきっかけや印象深い経験、これからの目標についてなど自由に語っていただくリレー企画です。

初期臨床研修医2年目の森 威徳と申します。徳島市民病院で研修医としてお世話になっています。

この場をお借りして、私自身のことを少し紹介させていただきます。生まれは徳島市で高校卒業まで市内に住んでおりました。その後、静岡県立大学薬学部へと進学しました。しかし、大学生活の途中から医師になりたいと強く思い始めた私は、岩手医科大学医学部へと入学しました。医学部を卒業、医師国家試験に合格した後に、生まれ育った徳島市へと帰ってまいりました。

学生時代の私は、夏は岩手の壮大な自然の中でドライブやツーリング、時には郊外でランニングもしていました。一方、冬の岩手は想像を超える寒さと雪でしたので、外に出ることはほとんどなく屋内で勉強するしかありませんでした。ただ、それが功を奏したためか、試験には準備万端で挑むことができ、進級では一度も苦勞をせずに済みました。徳島に帰ってきてからは眉山に登るなどの県内の散策に加え、週末は少し足を延ばして香川でうどんを食べたり、関西方面の観光地に行ったりしています。

さて、私の母校の岩手医大は教育機関であると同時に、長年にわたり東北の医療を支えてきた地域医療の砦でもあります。私はそこで、地域医療についても多くを知ることができました。次は、ここ徳島における地域医療を学びたいと思っています。市民病院はまさに地域に根付いた医療を実践している病院なので、この2年間の研修を通して皆さまから幅広い知識を学んでいきたいと考えています。これからご指導をよろしくお願いたします。

(初期臨床研修医 森 威徳)



新配膳車が稼働

3月13日より、当院では新しい温冷配膳車が稼働しています。丸みを帯びた車体にはピンクとベージュの2色が配され、6つのキャスターと電動走行機能により操作性が高く、軽い力で方向転換することができます。

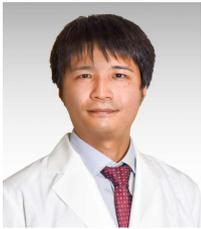
主食や主菜は温かく、サラダやデザートは冷たいままで配膳できるのは以前からですが、温度ムラがないよう庫内は微風循環方式で管理されています。衛生管理・安全管理もしやすく、よりよい状態で患者さんへ食事をお届けできるようになりました。(広報管理室)



新任医師、臨床研修医ご紹介

徳島市病院局は4月1日付で人事異動を発令しました。当院は医師10名を採用。臨床研修医7名を含め、17名が着任しています。医師の主な昇格は以下のとおりです。(旧任：新任の順に記載)
 ▽脳神経外科 木内 智也 診療部長：総括部長 ▽産婦人科 山本 哲史 診療部長：総括部長 兼 地域周産期母子医療センター長

▽外科 宇山 攻 主任医長：診療部長 ▽放射線科 岩本 誠司 主任医長：診療部長 ▽皮膚科 野田 利紀 主任医長：診療部長 ▽内科 榎原 孝典 医長：主任医長 ▽内科 芳川 明奈 医長：主任医長 ▽外科 山崎 寛門 医員：医長 ▽病理診断科 富田 満 医員：医長
 当院は今後も地域の中核病院としての役割を果たしてまいります。ご協力の程、何卒宜しくお願いいたします。



外科 主任医長
住友 弘幸

【専門分野】呼吸器外科



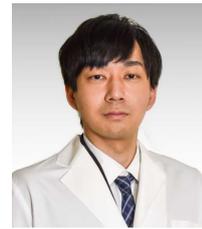
泌尿器科 主任医長
宇都宮 聖也

【専門分野】一般泌尿器科



内科 医長
山崎 めぐみ

【専門分野】消化器内科



内科 医長
村上 尚哉

【専門分野】呼吸器内科



整形外科 医長
中山 祐作

【専門分野】手外科、整形外科



麻酔科 医長
近藤 早紀

【専門分野】麻酔科



腫瘍精神科・心身症科 医長
前田 拓也

【専門分野】精神科



整形外科 医員
吉田 岳人

【専門分野】整形外科一般



産婦人科 医員
棚野 梨沙

【専門分野】産婦人科



麻酔科 医員
石本 里加子

【専門分野】麻酔科



臨床研修医 (1年次)
村上 由佳



臨床研修医 (1年次)
山下 華乃



臨床研修医 (1年次)
佃 直行



臨床研修医 (1年次)
山本 雄太



臨床研修医 (1年次)
尾関 さくら



臨床研修医 (1年次)
宿里 望



臨床研修医 (1年次)
西岡 朋可



Tokushima Municipal Hospital

徳島市民病院 広報管理室 編集

〒770-0812 徳島県徳島市北常三島町2丁目34番地

☎088-622-5121 (代表)

ホームページURL

<https://www.city-tokushima-hosp.jp/>

QRコードを読み取って移動できます▶

